



“あいのわ”とは



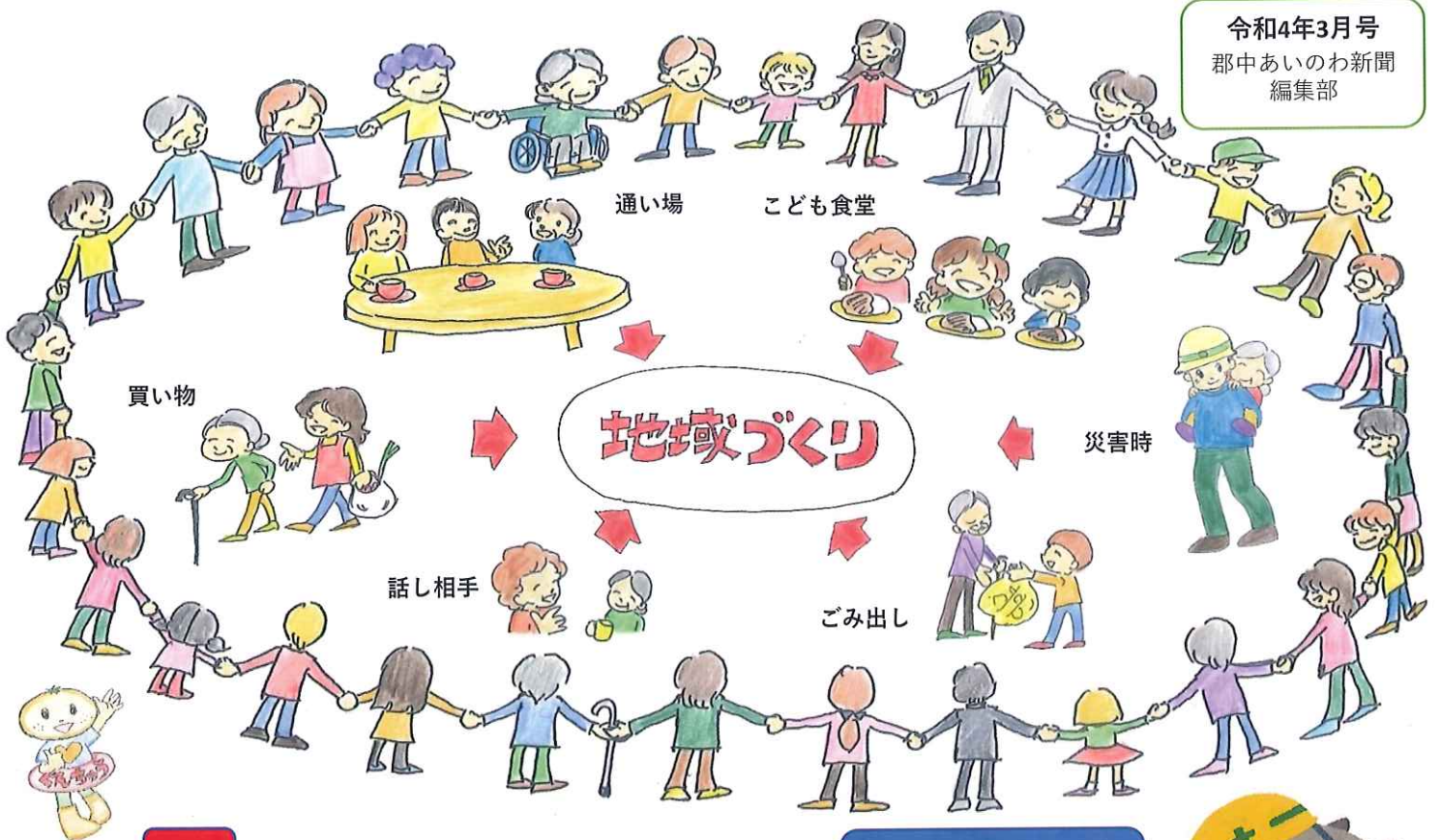
郡中 あいのわ新聞

少子高齢化が進み、誰もが住み慣れた地域で元気に暮らし続けていくには、相互に支え合う地域づくりが必要になってきています。

伊予市では、全体を6つの地域（郡中・中村・大平・南伊予・双海・中山）に分け、厚労省が掲げている『生活支援体制整備事業』に取り組んでいます。

この事業を『これからの伊予市に愛の輪を広げる会』、通称『あいのわ』と名付けました。地域の皆さんの手で、この**郡中地区**に愛の輪を広げていきましょう。

令和4年3月号
郡中あいのわ新聞
編集部



本棚

L字金具を使って壁などに固定する
棚を使って落下防止

TV

粘着シートを敷いて転倒を防ぐとともに機器の裏側を壁やテレビボードに固定

食器棚

扉に金具などを使って開閉防止
ガラスには飛沫防止フィルムを貼る

1月22日深夜、伊予市でも震度3の地震があったね！

タンス

- ・天井側はポール式器具で固定（箱を詰めてもよい）
- ・上下に分かれている家具は連結する。
- ・さし木などをタンスの前下に入れて転倒防止



この機会に家の中や防災バッグなどを見直してみよう！





『守ろうや、自分の町やけん』

灘町A地区では、精力的に自主防災の取り組みを行っています。あいのわ定例会（令和3年10月26日）で、米井会長や役員の方々にその活動を紹介していただきました。

【初期消化ホースの実践】



消火ホース格納箱を購入し、いざという時、誰もが使用できるように、水を出し本番さながらの実践を行っています。



【災害時要援護者の避難搬送訓練】



災害弱者等の避難搬送訓練を実施。要援護者全員にツインウェーブ（笛）も配布しています。

【高潮等によるゴムボートでの救出・救助】



五色浜でボートの組み立て方法を指導し、高齢者や子供たちに乗ってもらいロープで引っ張り救出救助訓練を行いました。

【初期消化の実技】



【AEDの実践】



【土のう作りと水防工法実技】



防災倉庫裏に土のうを用意して、いつでも誰でも使用できるようにしています。

【子供たちと防災について】

愛護班と自主防災会で、通学路に潜む危険な場所を地図上に記載し、マップ図を作成しました。改善できるところから行政・警察・交通安全協会にお願いし、子供たちの安全・安心に務めています。



【防災資機材】

定期的点検も計画を立てて行っています。



平成20年より毎年11月に訓練を実施 今年度11月23日の様子



起震車も来ていて体験しました



（※活動中の写真は左下を除き2019年12月以前に撮影したものです。）

問い合わせ先 伊予市地域包括支援センター Tel. 089-909-6260

編集後記

灘町A地区の皆さん、大変参考となる自主防災活動内容をご紹介して頂き感謝致します。きっと他の地域においてもご参考となるでしょう。

次号は上吾川地域を中心とした活動(第2弾)を紹介する予定です。

(編集長 小野)